



輝け くぬぎっ子

須坂小学校

「自分から」「つながる」
「認め合う」

須坂支援学校

「自分から、自分で、
せいいっぽい」

住所:須坂市須坂 780

印刷:須坂小学校職員室

発行責任者:水倉美和子(校長)

~2校で「共生社会を主体的に生きる子ども」を目指します~

充実の2学期 77日間

人とのつながりの中で育つ須坂小・須坂支援学校の子どもたち
～保護者・地域の皆様の温かいご支援ご協力、ありがとうございました～

9月2日（火）から始まった2学期 77日間。7月から南校舎の改修工事が始まり、中庭が使えないなどの制約がある2学期となりましたが、保護者・地域の皆様のご理解をいただき、予定していた今年度の工事が無事、終了しました。ご不便をおかけしたことをお詫びするとともに、皆様のご協力に感謝申し上げます。おかげさまで視聴覚室や図書館、1年生の教室、昇降口などがきれいになり、増築工事をしていたプレイルームも完成しました。関係の皆様に感謝し、子どもたちと大事に使っていきたいと思います。

2学期は、いろいろな人と「つながる」中で、存分に活動を楽しんだり、自分や友だちのよさや成長に改めて気がついたり、新たな視点から考えたりし、学びを深めた須坂小学校・須坂支援学校の子どもたちです。

○ 2校の子どもたちがつながる「なかよし班」(縦割り班)

須坂小1～6年と支援学校の小学部・中学部全員が、学年や学校の枠を越えた18の「なかよし班」に分かれて活動しています。須坂小6年生が活動を企画し、班担当の教員（担当教員も須坂小と支援学校混合）と打ち合わせを行い、月1回水曜日の昼休み、班ごとに活動してきました。2学期は、活動が一層、充実してきました。



～運営してきた6年生の振り返りから～

- はじめは、あまり楽しそうじゃない感じだったので、楽しくなるように工夫した。先生たちの協力もあり少しづつ楽しそうになっていったと思う。特に、今回と前回の工作、ゲームでは、みんな楽しそうだった。同じ班の人と一緒に、みんなが楽しめる遊びを考えられた。自分は、他の学年の人と話したりするのが苦手だったけど、この交流を通して少し苦手がなくなった。
- 今回は風船リレーをやって、学年関係なく、みんなが楽しんでやってくれた。みんなが楽しめる遊びを考えるのは大変だけど、計画するのも実行するのも楽しかった。
- なぞとき宝さがしは、みんな見つけたときに、とてもうれしそうな顔をしていて、私もうれしかった。
- ルール説明を分かりやすく説明したら、みんな楽しそうに遊んでいてよかった。先生のサポートがありがたかった。宝探しや、しりとり探しでは、達成感がすごいと言ってくれたりしてうれしかった。

～運営してきた6年生の振り返りから～

- ・ルール説明で、みんな、うなずいてくれてうれしかった。なかよしの時間をやってきて、自分の考える力や人前で話す力があがったと思う。
- ・今までやってきて、時間のことや、みんなをまとめたりすることなど不安だったけど、できるようになったし、最初より皆となかよくもできたからよかった。
- ・次回は、1回目から7回目まで同様、「全員が楽しめる」ようにしたい。今まで以上の笑顔、喜びが見られるよう、楽しい遊びを考えていきたい。
- ・今までにできることをしっかりやって、段取りよく、みんな楽しめる時間にしたい。支援の友だちも思い切り楽しめるゲームをしつつ、1～5年生も楽しめる時間に。

なかよし班の活動では、毎回、それぞれの班で子どもたちの次のようすをさまざまな姿が見られています。

- ・下級生や支援学校の友だちが作った絵を入れた紙コップに、6年生が紐を通してあげていた。その際、「どっちの紐がいい?」「自分で通せる?」「私、やる?」と相手と確認しながら進めていた。
- ・紙コップ積みゲームでは、最初、他のチームの失敗を願うような声もあったが、次第に「がんばれ」という声でいっぱいに。支援学校中学部の子どもの応援の影響だと思う。
- ・6年生の最初の頃の計画は、自分たちを基準として考えていて、クラスでよくやるレクリエーションのようなものを企画する班が多くいた。途中、支援学校の先生方から、「これなら、みんなで楽しめるよ」とヒントをいただき、誰もが楽しめるものにしようと方向転換することができた。
- ・ペットボトルボーリングで、はじめは見ているだけだった支援学校のAさんとBさんが、「やってみて」と声を掛けられ、チャレンジ。ペットボトルがたくさん倒れ、班の子どもたちは拍手喝采して喜んでいた。
- ・1年生は、なかよし班の活動を通して支援学校の子どもたちの名前を覚え、廊下で会うと話しかけたり、生活科の「1年生まつり」にお客さんとして招待したりすることができた。



○「つながり」を大事にした「なかよし月間」(11月)

「なかよし月間はじめの会」で、6年生が月間中の児童会企画の活動について楽しく紹介し、スザカザスの寸劇で、「なかよし」について意識を高め月間がスタート。子どもたちは、焼きいも会、青空遊び、縦割り清掃、プレイルーム交流等を通して、学級、学年、学校の枠を越え多くの人とつながる楽しさを感じたようです。5松・つき組の「おいもプロジェクト」、3松・ほし組の「ゼリー作り」の取組も。2年生は、自分や友だちのよいところを見つけ、伝え合い、笑顔いっぱい道徳の学習をしました。

○子どもたちが生き生きと企画・運営した「4松フェスティバル」「1年生まつり」

体育館・視聴覚室が、子どもたちの意欲的な姿でいっぱいに。来場者への積極的な呼び込み、丁寧で親切な接客、楽しく、こだわりをもって準備したことが分かる自分たちのブースへの自信。地域の方、保護者、園児、校内や支援学校の友だちなど、多くの方とつながり、みんなが楽しむフェスティバル・まつりとなりました。



2学期の皆様のご支援に改めて感謝申し上げます。須坂小・支援学校PTAが優良PTAとして2月に文部科学大臣表彰を受けることとなりました。3学期に詳細を報告いたします。よいお年をお迎えください。